

Kure College		Year	2022		Course Title	Electric Circuit V	
Course Information							
Course Code		0190		Course Category		Specialized / 選択必修	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		Electrical Engineering and Information Science		Student Grade		4th	
Term		First Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		適宜プリントなどを配布する。					
Instructor		Kuroki Futoshi					
Course Objectives							
1. ラプラス変換を利用して電気回路の過渡現象が計算でき、その物理現象が説明できる							
2. 各種四端子回路の表現算出、等価変換、動作伝送量の計算ができる							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		回路の過渡応答が適切に計算できる		回路の過渡応答が計算できる		回路の過渡応答が計算できない	
評価項目2		各種四端子回路の表現算出、等価変換、動作伝送量の適切な計算ができる		各種四端子回路の表現算出、等価変換、動作伝送量の計算ができる		各種四端子回路の表現算出、等価変換、動作伝送量の計算ができない	
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		各種回路の過渡現象、各種回路の四端子回路表示について基礎的な解析方法から応用技術までを説明する、また回路解析に必要な計算能力が習得できるよう多くの演習問題を課題として学習できるよう配慮する。本授業は学力向上に必要なものである。					
Style		教科書の内容をもとに下記の項目について説明する、適宜に演習、課題提出を実施する					
Notice		授業内容で不明な点あれば放課後、土日曜日等を利用して随時質問すること。なお研究室はセキュリティのため常時施錠しているが、行先表示板が「在室」であれば、教員室に電話すること。また電気情報工学科棟は土日・祝祭日は施錠されているが、担当教員は出張時以外は在室しているので、電話連絡のこと。					
Characteristics of Class / Division in Learning							
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☒ Instructor Professionally Experienced	
Course Plan							
			Theme	Goals			
1st Semester	1st Quarter	1st	過渡現象	回路素子の電氣的性質が理解できる			
		2nd	過渡現象	定常界と交流のフェーザー表示が理解できる			
		3rd	過渡現象	ラプラス変換が計算できる			
		4th	過渡現象	R-C・R-L直流回路の過渡応答が計算できる			
		5th	過渡現象	過渡応答時のエネルギーの移動が説明できる			
		6th	過渡現象	交流回路の過渡応答が計算できる			
		7th	中間試験	合格点をとる			
		8th	答案返却・解答説明	解答例が理解出来る			
	2nd Quarter	9th	四端子回路網	回路網をイミタンス行列で表現できる			
		10th	四端子回路網	回路網を縦続行列で表現できる			
		11th	四端子回路網	回路網の諸接続、回路合成が表現できる			
		12th	四端子回路網	接続された回路網が計算出来る			
		13th	四端子回路網	回路網を等価変換できる			
		14th	四端子回路網	種々の回路網が計算出来る			
		15th	四端子回路網	種々の回路網が計算出来る			
		16th	答案返却・解答説明	解答例が理解出来る			
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	0	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0